



瀬田の丘

創刊 1973 年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

年間第 23 主日 B 年 (2024 年 9 月 8 日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 35 章 4 — 7a 節

第二朗読：ヤコブの手紙 2 章 1 — 5 節

福音朗読：マルコによる福音書 7 章 31 — 37 節

イエスの執り成し

第一朗読の 5 節から 6 節にかけて、「そのとき」(原文はアーズ)が繰り返されます。神が来られる時です。いつなのかはわかりません。しかし、「そのとき」は必ず来るのです。フランシスコ会訳の表記を見ますと「その時」となっています。神が来られるのは、いつかわからないときではなく、地上の時間の中に来られるという意味を含めての表記なのかもしれません(新改訳は「そのとき」)。

さらに 5 節と 6 節に「見えない人」、「聞こえない人」、「歩けなかった人」、「口の利けなかった人」と続きます。これは実際に身体の不自由な人と捉えてもいいですが、むしろ喜びの将来が見えず、希望の言葉を聞くことのできない人、胸を張って前進できなかった人、将来への展望や夢を利けなかった人ととらえてもよいでしょう。7 節で、人の変化に応じて自然も変化していく点が興味深いです。

第二朗読では今週からしばらくの間、『ヤコブの手紙』が読まれます。宗教改革者のマルチン・ルターは『ローマ人への手紙』、『ガラテヤ人への手紙』がお気に入りだったようです。そして、この『ヤコブの手紙』については、「それは藁の書簡であって、それには何の福音の響きもない」と述べたとされています。

たしかに、この書は書簡という文学形式を採用しながらも、内容的には説教の色彩が強いです。日常生活の困難や試練に悩む信者を励まし、同じ共同体に属する他人への態度を説いているのが『ヤコブの手紙』です。今日の朗読箇所は、富める人と貧しい人を差別することへの戒めが記されています。

今日の朗読の 4 節にある「差別」と、1 節に登場する「分け隔て」は同じ言葉、ディアクリーノーです。この言葉には「言い争う、疑う、ためらう」という意味もあります(中動態、アオリスト受動態)。

そうしますと、文法的に分析してみると、4節はアオリスト受動態で記されていますので、直訳では「分けられた」となりますが、言外に「分けられたがゆえに、言い争いと疑いが生じた」という意味も含んでいることとなります。つまり、ヤコブの教会は富める人と貧しい人をめぐって分裂が生じ、人々の心と心が分かれて、疑いが生じていたのでしょうか。今日の朗読の直後、1章6節には「いささかも疑わず、信仰をもって願いなさい。疑う者は、風に吹かれて揺れ動く海の波に似ています」とあります。分裂が生じている教会共同体の現状が背景にある言葉だったのだと思います。

福音朗読では、「分け隔て」の様子が描かれています。33節から34節にかけて苦しむ人だけが分離され、イエスさまが行ったいやしのための準備の動作が記されています。イエスさまの動作（分離、両耳に指を入れ、唾をつけ、舌に触れ、深く息をつき）は当時のいやしを行う人々に共通のものだそうです。しかし、イエスさまは日常の言葉でいやしを行います。この点が呪文を唱えたいやしを行う人々と違う点です。「エッフアタ」はアラマイ語ですが、イエスとイエスの周辺の人々が日常に使っていた言葉です。

イエスさまは魔術を行ったものではありません。日常の言葉を用いることで、この苦しむ人に神の支配と愛を示すためにいやしを行ったのです。

そうしますと「天を仰いで深く息をついた」のは、霊能者のような精神を集中させるためではなく、神への祈りを表す行為と理解できるでしょう。「深く息をつく」は原文がスナテゾーです。「うめく」の意味があり、名詞形が『ローマの信徒への手紙』8章で言葉に表せない「うめき」をもって執り成すキリスト霊に使われています。そうしますと、イエスが「深く息をついた」のは神への祈り、執り成すのためだったのでしょうか。フランシスコ会訳ではここは「嘆息し」となっています。嘆息にはあきらめのため息の意味が強いので、あまりよい訳語とは思えません。

35節ではじめて、この苦しむ人は「はっきり話す」ことができるようになりました。これまでこの人については受動態の動詞が使われてきて、ここで能動態の動詞に変わります。いやしは自分の力からではなく、人々の信仰とイエスさまの祈りのおかげだったのです。

そして、朗読の最後で、人々は口止めされたにも関わらず、この出来事を言い広めはじめます。いやしはその人を罪の束縛から解放しますが、それは個人的な体験を越えて、周囲の人々をも巻き込んでいく出来事にもなるのです。

おしらせ

9月15日は 運営協議会を予定していましたが、主任司祭不在のため、ありません。